

令和4年6月13日（月曜日）

第2回松島町議会定例会会議録

（第3日目）

令和4年第2回松島町議会定例会会議録（第3号）

出席議員（14名）

1 番	菅 野 隆 二 君	2 番	米 川 修 司 君
3 番	櫻 井 靖 君	4 番	櫻 井 貞 子 君
5 番	杉 原 崇 君	6 番	後 藤 良 郎 君
7 番	赤 間 幸 夫 君	8 番	高 橋 幸 彦 君
9 番	阿 部 幸 夫 君	10 番	今 野 章 君
11 番	小 澤 陽 子 君	12 番	片 山 正 弘 君
13 番	高 橋 利 典 君	14 番	色 川 晴 夫 君

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

町 長	櫻 井 公 一 君
副 町 長	熊 谷 清 一 君
総 務 課 長	千 葉 繁 雄 君
財 務 課 長	佐 藤 進 君
企 画 調 整 課 長	佐々木 敏 正 君
町 民 福 祉 課 長	安 土 哲 君
健 康 長 寿 課 長	齊 藤 恵美子 君
産 業 観 光 課 長	太 田 雄 君
建 設 課 長	赤 間 春 夫 君
会計管理者兼会計課長	岩 渕 茂 樹 君
水 道 事 業 所 長	赤 間 隆 之 君
危 機 管 理 監	蜂 谷 文 也 君
総務課総務管理班長	相 澤 光 治 君
教 育 長	内 海 俊 行 君
教育次長兼教育課長	千 葉 忠 弘 君
選挙管理委員会事務局長	中 條 宣 之 君

丹 野 和 男 君

事務局 長 櫻井 和也 次 長 熊谷 直美
主 査 清水 啓貴

令和4年6月13日（月曜日） 午前10時 開議

〃 第 2 議案第 3 0 号 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る国民健康保険税の減免に関する条例の一部改正について
 〃 第 3 議案第 3 1 号 令和 4 年度松島町一般会計補正予算（第 2 号）
 〃 第 4 議案第 3 2 号 令和 4 年度松島町国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）
 〃 第 5 議案第 3 3 号 令和 4 年度松島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）
 〃 第 6 議案第 3 4 号 令和 4 年度松島町下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）
 〃 第 7 議案第 3 5 号 令和 4 年度松島町下水道事業会計補正予算（第 1 号）
 〃 第 8 議員派遣の件について
 〃 第 9 委員会の閉会中の継続審査・調査について

議事日程のとおり

午前10時00分 開 議

○議長（色川晴夫君） 皆さん、おはようございます。

ただいま出席議員が13名であります。定足数に達しておりますので、これより令和4年第2回松島町議会定例会を再開いたします。

それでは、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付しております。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（色川晴夫君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第124条の規定により、3番櫻井 靖議員、4番櫻井貞子議員を指名いたします。

日程第2 議案第30号 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した 被保険者等に係る国民健康保険税の減免に関する条例の 一部改正について

○議長（色川晴夫君） 日程第2、議案第30号新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る国民健康保険税の減免に関する条例の一部改正についてを議題いたします。

提案説明が終わっておりますので、直ちに質疑に入ります。質疑ございますか。7番赤間幸夫議員。

○7番（赤間幸夫君） 7番赤間でございます。

1点なんですが、このたびの提案で提案理由にもありますとおり、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した国民健康保険の被保険者等に係る保険税の減免ということでありますが、この収入減少となった対象者数と減免総額、令和4年度に納める分と令和3年度に納める分とそれぞれで教えていただけたらと思います。よろしくお願いします。

○議長（色川晴夫君） 佐藤財務課長。

○財務課長（佐藤 進君） それではお答えいたします。

まず令和3年度分でございます。令和3年度の減免申請につきましては、令和3年7月14日から受付を開始して減免申請者59名に対して減免決定者は56名、不承認3名。3名の方は事業収入の減少が10分の3以下になっているということで不承認になってます。56名の方が決

定してありますが、金額については902万100円でございます。減免決定の内訳でございますが、いわゆる10分の10、100%減免の方については53名、減免額が892万5,100円でございます。次に8割減免の方、こちらにつきましては3名の方ということで、金額については9万5,000円でございます。合計で56名、902万100円でございます。

続きまして令和4年度、こちらは7月中旬からの受付ということで国民健康保険の本申請というのがあるんだっけ。保険税を決定額と同時に文書等を入れて、そちらからの申請になりますので、何名かと言われてもちょっと今のところ決定はしないんですが、ただ国民健康保険特別会計の補正予算、こちらと関連ありますので、その考え方だけ申し上げさせていただければと思います。

先ほど令和3年度56名ということで申し上げまして、大体、令和2年度から令和3年度について人数的にも減ってると、その掛け率は大体75%ぐらい減になってるということで、令和4年度は、その見込みの掛け率を掛けまして430万円の減額ということになります。平均で大体12万円ぐらいの減額になるんじゃないかと。それで割り算すると35名という数字にはなるんですが、ただあくまでもこちら見込みということで令和2年度から令和3年度の減免額とか、減免人数とか、そちらを含めて決定してありますが、令和2年度、こちらコロナの初期の段階で10分の3以上の減免者がかなり多かったと。令和3年度についても前年度に対しての10分の3以下の減免と。また3年度になりますと、また前年度に対しての10分の3以上の減収ということになりますので、大分少なくなってくるのではないかと見ているところでございます。以上でございます。

○議長（色川晴夫君） 答弁終わりました。7番赤間幸夫議員。

○7番（赤間幸夫君） それで、あくまで減免申請によって対象者となるわけでしょうけれども、もし、遺漏しておって後追いで、追っかけて申請するというケースはあり得るんですかね。その辺は、促しはあるんですかね。その辺ちょっと確認だけしておきます。

○議長（色川晴夫君） 答弁。佐藤財務課長。

○財務課長（佐藤 進君） あくまでも年度末ということで7月に本申請、本申請というかそれと一緒に通知文書をやりますけれども、随時、広報とかで周知してますし、あとは2月ですか。申告ありますので、そちらでそういうらしき人ではないですけれどもそういう方がいらっしまったとき、町でもアドバイスをしているというような状況でございます。以上でございます。

○議長（色川晴夫君） よろしいですか。ほかございますか。ございませんね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（色川晴夫君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

討論に入ります。討論参加ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（色川晴夫君） なしと認め、討論を終わります。

これより、議案第30号を採決します。

本案を原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（色川晴夫君） 起立全員です。よって、議案第30号新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る国民健康保険税の減免に関する条例の一部改正については原案のとおり可決されました。

日程第3 議案第31号 令和4年度松島町一般会計補正予算（第2号）について

○議長（色川晴夫君） 日程第3、議案第31号令和4年度松島町一般会計補正予算（第2号）についてを議題といたします。

議案の説明が終わっておりますので、直ちに質疑に入ります。質疑ございますか。11番小澤陽子議員。

○11番（小澤陽子君） 11番小澤です。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金の活用に係る基本法について、ナンバー13、資料2ページ。暮らしを応援・住まいのリフォーム助成事業第2期の件につきまして、始まる前日の夜から庁舎内の車両全てをアトレ・るの駐車場に移動して、夜遅くまで職員の皆様がお仕事なさってるんだなあとは感じておりました。本当にありがとうございます。朝の3時から並んでいた町民の方もいらっしゃったとお伺いしております。私からの質問は、第2期も同じ方がまた使うことができるかどうかを教えてください。

○議長（色川晴夫君） 佐々木企画調整課長。

○企画調整課長（佐々木敏正君） 今回補正に提案させていただいております第2期分につきましては、第1期の方は再度申込みはできないような仕組みとしております。以上でございます。

○議長（色川晴夫君） 小澤陽子議員。

○11番（小澤陽子君） 承知いたしました。引き続きよろしくお願いいたします。

○議長（色川晴夫君）　それで傍聴の申出がありますのでお知らせします。――さんでございます。

ほかに質疑の方。6番後藤良郎議員。

○6番（後藤良郎君）　6番後藤でございます。おはようございます。

交付金事業の中で、これ前に担当かどなたかに聞いた記憶ありますが、17番保育所の感染予防対策事業の中で、2市2町の中では事業者到处遇をする代わりに保護者負担が発生するみたいなお話をしながら我が町のほうはどうですかと言った経過がありました。今回のこの事業については持ち帰りを禁止ということで、コロナもあり、大変いい内容になってるかなと、そう思います。一応これ期間としては3月までになってますが、想定される認定こども園の開設になった場合の流れはどういうふうになるのか、お答えをお願いします。

○議長（色川晴夫君）　安土町民福祉課長。

○町民福祉課長（安土　哲君）　こちらのおむつの持ち帰りを改善する取組につきましては、町の取組としましては、この年度が終わってコロナ交付金事業でやったとしてもその後も今現在の予算で対応可能ということで町単独の取組で継続したいと考えております。

また認定こども園につきましては、説明会で私も参加して聞かせていただいた内容では、同様の取組を行ってみたいと把握してるところでした。以上です。

○議長（色川晴夫君）　6番後藤良郎議員。

○6番（後藤良郎君）　了解しました。よろしくお願いいたします。

あと主要事業説明のナンバー4でお聞きをします。子宮頸がん予防ワクチンの件ですが、平成25年まではああいう形でおりましたけれども、女性の大切な命を守るということで、せっかくこういうワクチンがあるので全世界的にもそういう流れの中で進めますので、それで、今までは何かいろいろありまして、今回、国の流れの中で問題なのは、該当する方に対する県のこの通達を見ますと、個別勧奨、個別送付について積極的に云々とありますが、その辺は、個別送付は間違いなくその方に発送されるんでしょうか。

○議長（色川晴夫君）　答弁。齊藤健康長寿課長。

○健康長寿課長（齊藤恵美子君）　個別送付は定期接種の方であれば、皆様にしかるべき時期にさせていただきます。また、今回は、その時期を逃した方々に対してということになりますので、こちらは広報や、それからホームページなどでお知らせをさせていただいて、そして接種を受けていただくというようなことで予診票などを送付させていただこうと思っております。

○議長（色川晴夫君） 6 番後藤良郎議員。

○6 番（後藤良郎君） 定期接種はもちろん個別送付で、いつから我が町の始まるかは分かりませんが、県の通達も横並びで、これを見ますとなってるので、もう少し広報云々もいいんだけれども、ある程度特定してもう送っちゃっていいんじゃないでしょうか、このキャッチアップのほうも。どうなんでしょう。

○議長（色川晴夫君） 齊藤健康長寿課長。

○健康長寿課長（齊藤恵美子君） キャッチアップの事業については幅広い年代層の方々にお知らせはしようとは思ってはいますけれども、あくまでも機会を逃した方々ということの取扱いになりまして、定期接種からの位置づけということになりますと、ちょっと接種的な勧奨をするんですけれども、予診票を積極的に送るというような段階といたしますか、取扱いにはならないので。令和4年度については、標準的年齢の方々には積極的に最初から予診票などをお渡しして接種をしていただくような予算取りと、それから準備は進めておりますけれども、こういった皆様方には接種の機会を設けて、予診票をご希望される方々には予診票をお送りさせていただこうと準備しております。

○議長（色川晴夫君） 後藤良郎議員。

○6 番（後藤良郎君） 分かりました。

あと最後に、対象の約30%の見込みとありますが、これ根拠はどうなんでしょう。

○議長（色川晴夫君） 齊藤健康長寿課長。

○健康長寿課長（齊藤恵美子君） 全国的なデータを参考にさせていただくことと、あと近隣市町、宮城県内のほかの自治体のデータを参考にさせていただきました。また、差し控え前は定期予防接種では、ちなみに約7割の方は実施していただいていたという実績はございますが、何分、女性の方々に予防接種を副反応があるのではないかとということで、大変警戒をする年代でもございましたので、ちょっと7割までいくかどうかというところはございます。

○議長（色川晴夫君） 後藤良郎議員。

○6 番（後藤良郎君） その副反応とかいろいろ相談事の体制も、このたび県のほうで打ち出しているんでその辺も加味しながら、よりよい事業に取り組んでいただきたいなとそうに思います。以上です。

○議長（色川晴夫君） よろしいですか。（「はい」の声あり）ほかに。3 番櫻井 靖議員。

○3 番（櫻井 靖君） 櫻井 靖でございます。

まず、2 款総務費のみやぎ青年婚活サポートセンターへの加入についてですけれども、昔か

らあった多分こういう事業だったと思うんですが、今に至ってなぜ加入することになったのでしょうか。加入する場合どんなメリットがあり、町としてはこれを活用してどういうことをしていこうとしているのか、お伺いいたします。

○議長（色川晴夫君） 答弁。佐々木企画調整課長。

○企画調整課長（佐々木敏正君） こちらにつきましては、昨年度まで宮城県でも負担金を出して取り組んでいた事業でございまして、今年度から県は独自のシステムで婚活をサポートしております。この宮城県青年会議所で行っております婚活でございしますが、県内の多くの自治体が加盟しておりまして、その中で加盟団体におきましては結婚相談会というのを開催していただいております。年に2回、こちらは最低限開催が保障されておりまして、さらに費用のご負担をもし上げれば複数回もできると。本町におきましても、これまでの令和2年度3年度を見ますと1名活動されていて、非常に宮城県の中でも松島町の活動に参加する方が少ないということがございました。今回、既に今年度、5月の広報、6月の広報でも相談会のご案内を掲載したところ、10組を超える相談者の方がこちらの会に寄せられているということで非常に効果はあるものだと思っております。ですから、今回のこの負担金を補正計上させていただきながら、こちらの会に加盟をし、さらに町として結婚の相談をサポートしていきたいと考えているところでございます。以上です。

○議長（色川晴夫君） 櫻井 靖議員。

○3番（櫻井 靖君） 松島は本当に未婚率も高い町ということになっていると思いますので、しっかりと活用をしていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金事業の中から数点、少し質問させていただきます。

まず、14番のウェブ会議等通信環境整備事業でございしますが、現在、庁舎内のフリーWi-Fiが、すごくつながりづらい状態ではありますが、これによってそのことが改善できるのでしょうか。よろしくお願いいたします。

○議長（色川晴夫君） 佐々木企画調整課長。

○企画調整課長（佐々木敏正君） 現在、町庁舎で公開しておりますフリーWi-Fi、こちらのアクセスが上限数が150でございまして。櫻井議員がおっしゃるとおり、現在、上限数、日によってですけれども、来庁者の数によりまして上限数に達したときは新規接続ができない状況ということで、町職員の業務での公衆用Wi-Fi、本当に必要なとき以外はつながないでほしいということを各課に周知しております。現在は、そちらの解消はされつつあるんで

すが、さらに今回この事業を活用し、ＳＳＩＤ、要するにパスワード発行型の無料Ｗｉ－Ｆｉを新たに設けますので、そちらのほうで実質、接続可能台数が増えるということで、これまで接続できなかった現象は起きにくいということで捉えているものでございます。以上です。

○議長（色川晴夫君） 櫻井 靖議員。

○３番（櫻井 靖君） 我々議会でも広報広聴委員会などで使うときに、なかなかつながりにくい状態というのがあってなかなか不便な部分があるんですけども、そういう場合も利用できるということでよろしいんでしょうか。

○議長（色川晴夫君） 答弁。佐々木企画調整課長。

○企画調整課長（佐々木敏正君） お答えします。

企画調整課で今回設置します公衆用無線Ｗｉ－Ｆｉのアクセス権限を発行できますので、接続する際はご相談いただければ即時対応させていただきます。以上でございます。

○議長（色川晴夫君） 櫻井 靖議員。

○３番（櫻井 靖君） 職員の方々が、やはりスマホで自動的に接続されるというのも一つの原因ということも考えられると思いますので、そういう分けることというのはすごくいいことかなと思いますので、よろしくお願いいたします。ただ、来庁者の方々に関しても、それで接続できなかったという部分があると思いますので、すみませんが、職員の方々はなるべく自動接続という部分は極力避けたほうがいいのかと思いますので、そちらの周知をぜひよろしくお願いいたしますと思います。よろしくお願いいたします。

それから16番ですね。独り親世帯、障害者世帯のコロナ感染時等食糧支援事業ですけども、これは独り親世帯、障害者世帯に限った事業ということだと思うんですが、家族全体が濃厚接触者になった場合、ほかの方々に関しても外に出れない状態が続くんですが、そちらのフォローというのは何か考えているということはないんですか。よろしくお願いいたします。

○議長（色川晴夫君） 安土町民福祉課長。

○町民福祉課長（安土 哲君） 今回の独り親世帯と障害をお持ちの方の世帯に限らせていただきました理由としましては、一般的に一般世帯はコロナに罹患しまして外にお買物をなかなか行けないということのときに、県からの支援も同様にあるということ把握しております。また、併せて通常世帯ですと、ネットで購入をし、食糧品に充てているという実例も聞いておりますので、そういった観点からより絞った対象で今回事業費を上げさせていただきました。以上です。

○議長（色川晴夫君） 櫻井 靖議員。

○3番（櫻井 靖君） そういったことでしたら、なるだけそういう理由というのをきちんと周知した上でよろしく願いいたします。それから、これ誰がなったかというのが実際分かるものなんでしょうかね。そこら辺の把握というのは、どういうふうに考えているのでしょうか。よろしく願いいたします。

○議長（色川晴夫君） 安土町民福祉課長。

○町民福祉課長（安土 哲君） 仙台市、名取市、利府町、富谷市でやってる取組を少し教えていただいたんですけれども、行政でも個人名を特定することは今できない状態でありまして、基本、感染症にかかった方から電話などをいただいて、それを基に配送してるというそういった取組になっております。以上です。

○議長（色川晴夫君） 櫻井 靖議員。

○3番（櫻井 靖君） 障害者などの方がもしかかったとして、なかなか連絡しづらいという状況もありますので、そこら辺の把握ということを十分アンテナを立てて、よろしく願いいたします。これ、3人分まとめてという形になってるんでしょうかね。それ、世帯によっては、もっと人数が多い場合、少ない場合というのがあるんですけれども、送る場合は3人セットという形になるのか、そこら辺の部分の融通というのはどうなってるんでしょうか。

○議長（色川晴夫君） 安土町民福祉課長。

○町民福祉課長（安土 哲君） 予算を上げる積算根拠上、1世帯3人と置かせていただきましたが、1世帯4人であっても対応するというような形で進めていきたいとは思っております。以上です。

○議長（色川晴夫君） 櫻井 靖議員。

○3番（櫻井 靖君） ありがとうございます。よろしく願いいたします。

それから、19番の分散型観光促進パンフレットなんですけど、多様なターゲットということで、24ページとすごくボリュームのあるページ数という形になっているんですけれども、これもしよければ24ページというあまりにもこう、それこそターゲットが絞り切れてないというか、どなたでも対応できるものというよりは、ある程度シニア向きとか若い人向きというか分冊で2冊、12ページとかそういう形でやるともっと効率よくそういうふうなターゲットに届くのではないかなと思うんですが、そういうお考えはないでしょうか。よろしく願いいたします。

○議長（色川晴夫君） 答弁。太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） 資料にも書かれてるんですけども、今回対象としての子供連れの家族とか、あとミドル、シニア、あとペット連れ、若い世代、カップルということで、多様な方々を対象としておりまして、パンフレットの内容の中で、こういった多種多様なターゲット向けの1泊2日なりの観光コースなりを掲載したいと。なおかつ松島の場合、冬場の閑散期の対応というのもありますので、こういった期間にもおいでいただけるように、冬場のコース設定も行うと。今のご質問なんですけれども、確かにページというか冊を分けてやる方法も確かにあるとは思うんですけども、今回はそういったものを一本化して、ページ数24ページを予定としておりますが、そういった形で発行していきたいと考えております。以上です。

○議長（色川晴夫君） 櫻井 靖議員。

○3番（櫻井 靖君） 多くの人にそういうのが届けばいいなと思ってますので、今後つくるとしては、そういう形で若い人向け、シニア向けというのを表紙でも分かるような形で、取りやすいような形というのもまたいいのかなと思いますので、ぜひともそういう考えも取り入れていただければと思います。よろしくお願いいたします。

21番ですが、図書という形で今回購入されるわけですが、普通の図書と何か違うのでしょうか。特別にコロナ関係に対応した図書を購入するとかそういうことになるのか。例えば、アウトドア関係がとか、今そういうのがはやってますので、そういうものを主に入れますよとか、リモートワーク関係とか、ふだん旅行に行けないのでそういう形の部分で少しでもそういう気を紛らわすものとかと特色のある図書を入れていただけるのかどうなのか。そこら辺をお伺いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○議長（色川晴夫君） 千葉教育次長兼教育課長。

○教育次長兼教育課長（千葉忠弘君） 今回の図書購入についてですが、今回は児童書に力を入れていきたいと考えておりました。図鑑、紙芝居、それから絵本ですね。それから内容については、今回英語特区になったということもありますので英語に関する本。それから、台湾との交流を五小で行ってますので、台湾の本なんかもちよっと入れていきたいなと考えてます。それから、大人の方向けには、趣味の園芸の本とか、あと手芸の本とか、あと旅行関連の本とか、その辺を一応今のところ検討しているところでございます。以上です。

○議長（色川晴夫君） 櫻井 靖議員。

○3番（櫻井 靖君） ぜひともコロナという形でありますので、そちらに対応したものというのをに入れていただいたほうが活用される方が多いと思いますので、ぜひともよろしくお願い

いたします。以上でございます。

○議長（色川晴夫君） ほかに質疑ございますか。菅野隆二議員。

○1番（菅野隆二君） 1番菅野でございます。3点ほどご質問させていただきます。

先ほど小澤議員からも質問あったんですが、リフォーム助成補助金について。今回は第2弾ということですが、第1弾は大変好評だったとお伺いしてます。この第1弾の1,000万円を、補助金をきっかけとしてというか呼び水として町内でどれくらい経済効果、町内の業者の方にどれくらいの発注金額が生み出されたのかというのが分かるようであれば教えていただけますでしょうか。

○議長（色川晴夫君） 答弁。佐々木企画調整課長。

○企画調整課長（佐々木敏正君） 今回の住まいのリフォーム助成事業につきましては、1申請、上限を20万円の補助としてございます。対象が40万円を超えれば、2分の1の20万円ということでございます。申請を見ますと113件、今回申請受付をさせていただきながら、対象事業費、こちら見積書の中身を全て確認させていただいて金額をはじきました。約6,500万円の総事業費ということで捉えているところでございます。この金額が町の中で経済効果として動いたお金ということで捉えております。以上です。

○議長（色川晴夫君） 菅野隆二議員。

○1番（菅野隆二君） ありがとうございます。6.5倍というところでは素晴らしいなというところで引き続きやっていただければというところではございますが、ただ1点。好評だったという裏返しだとは思いますが、先ほども小澤議員がおっしゃってましたが3時から並んでたりとか長時間並んだというところがということもお聞きしました。あとは平日の朝ということだったので、どうしても仕事をしてるご家庭だったりとかだと申込みに行けなかったという声もちょっとお聞きしました。第1弾、大変好評だったので、第2弾もその交付の受付方法だったりとか、何かブラッシュアップできればさらによくなるなとは思いますがそういったところのご検討はなさってるのでしょうか。

○議長（色川晴夫君） 佐々木企画調整課長。

○企画調整課長（佐々木敏正君） 第2弾につきましても、現在、申込み方法を前回の実施の状況を見まして中身を精査中でございます。以上でございます。

○議長（色川晴夫君） 菅野隆二議員。

○1番（菅野隆二君） 期待しております。

あと、また同じ新型コロナウイルス感染症対応地方創生事業費の中ですね。こちらですと、

主要事業説明資料の資料3のところですね。こちらを見ますと、農業者、漁業者、商工業者、観光バスに対する補助金に関してですが、困っている事業所の皆さんにということは僕も大賛成でいいことだなというところあるんですが、中を見ると事務費のところ、もちろん補助金を出すというところで経費が必要なのは分かるんですが、農業者と商工業者は10万円に対して漁業者が27万800円である一方、観光バスの事務費の計上がゼロだったんですがこの分の何か違いというか要因というのを教えていただければと思いました。

○議長（色川晴夫君） 太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） 簡単に申し上げますと、漁業者の支援は漁協さんに事務をお願いしますので、事務の諸経費というか手数料という形になります。農業者と商工業者については、町の職員が事務を取るものですから、消耗品とか通信料とか需要料だけにとどまるというような形でちょっとそういった形で事務費が違うという形になります。以上です。

○議長（色川晴夫君） 菅野隆二議員。

○1番（菅野隆二君） 分かりました。少しでも事務費だったり抑えられれば、事業者さんにお金が行くのかなと思ったのでご質問させていただきました。

ちなみに、バスは事務費ゼロというのは、要因もし分かれば教えていただけますでしょうか。

○議長（色川晴夫君） 太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） こちらは現予算で賄い切れるという判断をしてましたので、そういう形になっております。

○議長（色川晴夫君） 菅野隆二議員。

○1番（菅野隆二君） 承知しました。

最後なんです、事項別明細書の最後の20ページのところなんです、こちらの表を見ると任用職員以外の職員の方が7名マイナスとなっていて、任用職員の方1名増えてるところでもあったんですが、差引き6名減という形になるんですが、6名も減ると公務に支障とか出ないのかなとか思って、そういったところの対応方法などお考えがあれば、お聞かせ願えますか。

○議長（色川晴夫君） 千葉総務課長。

○総務課長（千葉繁雄君） 今回の7名の減の一つの理由なんです、採用辞退であったり、途中退職というのがあって減になったということで、実際、予定人数よりは足りないんですけども、そこは会計年度任用さん、どうしても足りなければ会計年度任用さんの採用ですとか、あとは今年度の採用で可能であれば、前倒し可能であれば前倒しでの採用での対応が必

要であれば考えていくということで考えておりました。

○議長（色川晴夫君） 菅野隆二議員。

○1 番（菅野隆二君） そうですね。考えていただけるというところなんです、今現在いらっしゃる職員の方に負担が増えてサービスの低下につながらないようにだけしていただければと思います。以上で、質問終了です。

○議長（色川晴夫君） ほかに質問ございませんか。杉原議員。

○5 番（杉原 崇君） 5 番杉原です。私も3点ほど。

まずリフォーム事業で今回県内でも初の試みということで、実は町外の知り合いの事業者さんからもご連絡いただいて、すごく松島いい取組だねうちの町でもやってほしいなという話を受けたぐらい、大変すばらしい事業だなと思っております。今回、第1弾のときに早朝から並べなかった方もいらっしゃる中でお聞きしたときに30名程度申込みできなかったということだったんですが、今回の第2期に関してその30名に対しての優先枠という考えというのはないものなのか、そこをお聞かせいただければと思います。

○議長（色川晴夫君） 答弁。佐々木企画調整課長。

○企画調整課長（佐々木敏正君） 今回実施します第2期につきましては、前回受付できなかった方30名程度おりますが、その方はフラットの状態で新たに新規での受付ということで考えております。以上です。

○議長（色川晴夫君） 5 番杉原 崇議員。

○5 番（杉原 崇君） ということは、優先枠ないということは、今回も早朝から並ばれることも考慮しているということなんですか。募集の段階であまり並ばないでほしいということをお話があった中で、やはり人気であって、そういう方がいらっしゃる中で、どういう対応を今後検討していくのか分かりませんが、その考えをちょっとお聞きしたいと思います。

○議長（色川晴夫君） 佐々木企画調整課長。

○企画調整課長（佐々木敏正君） 前回もそうなんですけれども、事前相談の段階で並ばないでいただきたいと、危険ですよと。安全を確認して、慌てないでゆっくり開庁時間に合わせて来てくださいという話を再三させていただいております。今回も同じような対応で8月上旬での申込み受付になりますが並ばないでいただきたいと、3密対策もありますのでその辺はご検討いただきたいとアナウンスしてまいりたいと考えております。以上です。

○議長（色川晴夫君） 杉原 崇議員。

○5 番（杉原 崇君） 何となく難しいかなと聞いて思いますが、そこはちょっと、申込みちょ

っといろいろ検討してほしいなという思いがあります。また、今回、すごく事業者もすごく頑張ってもらって、すごく営業もされた方もいた中で半導体が入らないとか、ウクライナ侵攻だったり外的要因でいろんな面が、工期が難しいという話も伺った中で、今回、2月28日まで完了しなければならないということで、これに関して事業者への聞き取りというのは行っているものか、そこをお聞かせいただきたいと思います。

○議長（色川晴夫君） 佐々木企画調整課長。

○企画調整課長（佐々木敏正君） 前回、第1期のときもそうなんですけれども、受付開始前に、昨今の世界の情勢を踏まえまして、材料不足、半導体不足もありまして、例えば給湯器関係ですとか、あとはエアコンの室外機とか、そういったものの入りがなかなか悪い状況というところがございます。

また、エコキュート関係も3か月4か月待ちというのが非常に多くて、納期が見通せないというところもございます。ただし、半年程度では入ってくるであろうという見込みの中で、今回の事業者のほうでもヒアリングを行ってございます。また、建材関係、建物についても、一部仕入れが滞るものがありますが、二、三か月程度の納期があれば可能ということの回答を得ておりますので、その辺の市場確認はさせていただいているところがございます。以上です。

○議長（色川晴夫君） 杉原 崇議員。

○5番（杉原 崇君） ということは、補助金関係もあるので難しいと思うんですけれども、工期の完了が延長というのは、なかなか難しいものなのかどうか。

○議長（色川晴夫君） 答弁。佐々木企画調整課長。

○企画調整課長（佐々木敏正君） まず今回、国からのコロナの臨時交付金を財源としている事業でございます。国予算が令和3年度予算、要は、国予算は令和4年度に繰越ししている事業でございます。町予算は現年度予算でございますが、これを例えば令和5年度に持っていくと事故繰になるので、工期は現年限りということで捉えているところがございます。今現在2月末までを3月上旬までとか、そういった調整については今後検討してまいりたいと考えているところがございます。以上です。

○議長（色川晴夫君） 杉原 崇議員。

○5番（杉原 崇君） 今回、第1期のときもお話伺ったんですが、ぎりぎりで見積り依頼を受けたりですね。町民の方、もっと要望がすごくたくさんあって、今回50名ちょっとかなという申込みの中で、すごくこれ第2次産業の方にとっては大変すばらしい事業であるんですが、

やはり、一般財源を使って、また別途こういった事業をぜひ続けていただければと思うんですが、その考えとはどうなのでしょう。

○議長（色川晴夫君） 佐々木企画調整課長。

○企画調整課長（佐々木敏正君） まず今回の趣旨といたしましては、コロナの臨時交付金を活用して地元経済、事業者を支援したいという思いで事業を行ってございます。今後、そういった国からの支援も検討しながら中身を精査していきたいと思っているところでございます。

○議長（色川晴夫君） 杉原 崇議員。

○5番（杉原 崇君） 先ほどもお話ししたんですが、町外の業者の方がすごく羨ましがってる、大変注目された事業ですので、ぜひこれ町、松島のすごく独自の事業ということで今後、ぜひ続けていただきたいなという思いがありますので、そこはご検討をよろしくお願ひしたいと思ひます。

続きまして、ナンバー18番ですね。松島宿デジタルクーポン発行事業ですね。ちょっとこれよく、私聞いていて分かんなかったんですが、まず旅行予約サイトで使用できるということなんですが、この旅行予約サイトというのはどこのことなのでしょう。

○議長（色川晴夫君） 太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） まだ、どこというのは決まてはないんですけども、有名どころとしてはじゃらんさんとか楽天トラベルさんとかがあります。以上です。

○議長（色川晴夫君） 杉原 崇議員。

○5番（杉原 崇君） ということは複数サイトでということなのでしょう。そうすると、各サイトで手数料もちょっと変わってくるのかなと思うんですが、そこら辺の検討もなされているのでしょうか。

○議長（色川晴夫君） 太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） 現在、事前準備として複数社に照会中なんですけれども、1社からは契約の意向があるという回答を得ております。そして、後にその要件が合えば、参加という話になれば後追いでも対応したいと考えておりますが、今、話出ました手数料とかの関係もあるので、そのところは旅館組合さんと受託者との間で統一化を図ってもらいたいなと思ひます。以上です。

○議長（色川晴夫君） 杉原 崇議員。

○5番（杉原 崇君） 複数サイトを使うとなると、やはり予約される方がそこを知らずに違うところを予約するという状況も考えられるんですが、そうなったときに多分クレームとか出

る可能性もなきにしもあらずかなと思うんですが、そこら辺の対応というのはどういうふう
に考えてらっしゃるのでしょうか。

○議長（色川晴夫君） 太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） ちょっと正直申し上げますと、この流れでいくと一緒のところ
かなというような感じなんです。ちょっとそのところは、はっきりは言えませんが、前段でも申し上げましたが、後から来れば後追いでというような対応もしたいし、お金の関係が出るのであれば、やっぱり統一感というのは図っていききたい。これは組合さんにもお話は既に申し上げております。以上です。

○議長（色川晴夫君） 杉原 崇議員。

○5番（杉原 崇君） なかなか難しい問題なのかなと思うんですが、そこはちょっと検討して
いただいてというのと、あと今月で県独自の県民割が終了するんですが、今後G o T oに代
わって県民割の拡大が始まるという報道もあります、7月から。今回、新たな県民割とこの
デジタルクーポンとの併用というのもちょっと考えられるのかなと思うんですが、そこら辺
の考えというのはどうなんでしょうか。

○議長（色川晴夫君） 太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） 現在、県民割やってるんですけども、その中では県民割は他
の自治体がやっている独自のキャンペーンとの併用は不可というような判断をされておしま
す。新聞報道では、今後G o T oトラベルに代えて、この県民割なりをやっていくというよ
うな掲載もされておりますが、その辺の動向も見極めたいと思います。またG o T oの場合
も県民割の場合も券がなくなったら終了という形になってたので、こちらのデジタルクーポ
ンは期間をちょっと長く設定ということで、夏休みぐらいから年末年始ぐらいをターゲット
にしてやっていきたいなと考えておりました。以上です。

○議長（色川晴夫君） 杉原 崇議員。

○5番（杉原 崇君） 両方があるということは、やはり県民割のほうが得、クーポンがつくの
で得ということにはなるんですが、やはり先ほどもお話ししたんですけども、これもやは
り2つがあるとどちらを選ぶかということで片方しかなかったという話も出ると思うので、
そこも含めてちょっと情報発信というのかな。そこはどういうふうに考えてらっしゃるのか、
そこをお聞かせいただきたいと思います。

○議長（色川晴夫君） 太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） いずれを取るのかはお客様の判断次第になりますので、宮城県

は宮城県で宿泊割なりはやるし、うちらほうではうちらほうでデジタルクーポンをやるというような形にならざるを得ないので、より目を引くキャッチコピーなりをその業者さんにつけてもらって、お客さんの購買意欲をかき立てていきたいと考えております。以上です。

○議長（色川晴夫君） 杉原 崇議員。

○5番（杉原 崇君） 分かりました。ちょっと何か話がかみ合わないので、この辺で終わります。

最後にですが19番、先ほど櫻井議員も話がありましたがパンフレット制作事業ですね。今回、24ページの3万部を作成という部分なんですけど、この文面からすると県内や隣県への配布ということなんですけど具体的な配布先はどこかと、首都圏にこれを配布という考えはないのか、そこを併せてお聞きしたいと思います。

○議長（色川晴夫君） 答弁。太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） 現在考えておりますのは、仙台駅とか仙台空港、それから泉にあるショッピングセンター、それから多賀城の図書館とかも考えておりまして、県外については東京の池袋にあるアンテナショップとか、あともちろん県庁に東京事務所、大阪事務所あるので、その辺に配架していきたいと考えております。以上です。

○議長（色川晴夫君） 杉原 崇議員。

○5番（杉原 崇君） 分かりました。これを見ると首都圏、何か出てなかったもので、ちょっとそこだけ気になったのでお聞きしました。

あと最後に、今回これをデータ化してSNSや有料広告サイトに発信するというので、これはあくまでも国内向けということなのかなとは思いますが、先週もお話あったインバウンド、これから円安が進んでいってお金をたくさん使うんじゃないかという話もありますが、一方、マスクだったり発熱だっってどうすんだという問題もいろいろある中で、やはり、それを加味してもインバウンドに向けて準備をしていく必要があるかなと思うんですが、このSNSや有料広告サイトに載せるときに、そういった多言語向けというかな、それに合わせて、パンフレットじゃなくてそういったものをつくってもいいかなとは思いますが、予算的には難しいのかもしれないですが、そこら辺の考えというかな、そこをお聞かせいただきたいと思います。

○議長（色川晴夫君） 太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） ウェブサイト等については、日本語だけを考えておりました。

国際化の対応という話を今いただきましたけれども、そちらは別途検討という形で、例えば、

東北通信観光推進機構さんとか、宮城県さんとか、あとは広域での話もあるんですけども、やはり国際観光となると、松島単独というよりは、やっぱり広域でやったほうがいいんだろうなというような考えもありますので、その辺はちょっと今後検討していきたいと思います。以上です。

○議長（色川晴夫君） 杉原 崇議員。

○5番（杉原 崇君） やはり今から種をまいておかないと、いざ来る、来たというときに、そこはちょっと町としても準備はしていかなきゃいけないのかなと思っております。PRも必要だし、あとは町内の事業者も、やはり最近キャッシュレスは増えているんですが、その手数料が高いという話もありますが、そういった準備もやはりしていかなきゃいけないなとも思いますので、併せて。そこは今後、そういった対策もしていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。以上です。

○議長（色川晴夫君） ほかに質疑ございませんか。12番、片山正弘議員。

○12番（片山正弘君） 事項別の6ページの、先ほども質問がありました企画費の中の住宅リフォーム助成金制度であります。これは本当に住民として見れば、また地方の側から見れば、経済効果はすばらしいものだなど。本当にこれは、もっともっと広げたほうがいいのかなという感じをしているところでもあります。ただその中で、これは、今回の2次の予算措置というのは、いつの時点で考えられたんですか。

○議長（色川晴夫君） 答弁。佐々木企画調整課長。

○企画調整課長（佐々木敏正君） こちらにつきましては、実質、先月後半。募集状況の事前相談の状況を見ながら検討したところでございます。以上でございます。

○議長（色川晴夫君） 片山正弘議員。

○12番（片山正弘君） そうしますと、もう、こういうのは情報等も含めて6月1日にスタートした段階で、もう2次をこの時点で予算を組んで。もう時点で調査をして、次は2次をやりますよというような予算措置だったと私は思ってるんです。その中で、そこで多くの方が並んだというときに、申込みができなかった30人以上の方たちに何かの広報というものあってもしかるべきだったのではないかなと私は思ってます。次の時点で第2次もあるかもしれない。そういうことの情報なんかも提供してもよかったのではないかなと私は思うんですよ。それもなしにして、ただ並んだ113人で終わりですと、それで切ってしまったという経緯があるわけであります。

しかしながら、やっぱり予算というのは、まだ受付もしない予備審査段階で2次までやると

いうのはいかなものかと私思うんですよ。ですから、一時の予算措置というのが甘かったのではないかなと私は思うんですけども、その辺の考えをひとつお聞きしたいと思います。

○議長（色川晴夫君） 佐々木企画調整課長。

○企画調整課長（佐々木敏正君） 今回、まずこの住宅リフォームにつきましては、受付の段階でお並びいただいた当日受付に来られた方、全ての方のお名前と連絡先を伺ってございます。113名を超える方、要は140名まで全員のお名前と申請書を見させていただいてございます。今後、新たにこういったことが可能となる場合は改めて連絡しますということで、自宅もしくは携帯番号を伺っておりますので、そちらは案内をさせていただいているところでございます。

また2,000万円の当初の捉え方でございますが、こちらにつきましては現在、令和4年度の、まず取りかかりということで県内でも全国的にも類を見ない事業でございますので、初めてということで、まず取りあえず今回事業者の経済支援ということで、2,000万円でスタートしてみようということで思い切って実施のほうを計上させてもらったものでございます。以上でございます。

○議長（色川晴夫君） 片山正弘議員。

○12番（片山正弘君） そうしますと、経済効果はすばらしいということは分かってるわけですから、ですからこういう予算措置するときに6月1日受付なのに、もう既に第2次までも予算化してますよということが現に出てるわけでしょ。ですから、今後このような予算措置、これ以外のものでも予算措置をする場合、十分に検討する必要があるんじゃないかなと私は思ってます。ですから、多くの方が、申込み者が多かったから、じゃ2次もやりましょうねと、こういうふうな予算措置というのはいかなものかと私は思うんです。その辺を含めてどういうふうに考えるか、今後の予算措置というのをどのように考えているのかお聞きします。

○議長（色川晴夫君） 熊谷副町長。

○副町長（熊谷清一君） まず予算措置は、今こういう状況で100を超える数字があったということで次の予算措置、補正であるとか今回みたいな形になるかと思えます。ただやっぱり人数が多いからもう予算計上してますという1期の受付の段階でですね。予算も成立してない状況の中で、そういうやっぱり表現というのはなかなか難しいのかなと。ただ、町の取組としてはそういうことを、また、強いてサービスで言えば、町としてこの状況を見ながらまた次のステップを考えていきたいということはお話できるかと思いますけれども、予算にも

反映してますという言い方はちょっと、まだ議決もされているわけでありませんで、そこはちょっと難しい取扱いになるんじゃないかなと思います。ただ来られた方に対してのサービスというか情報提供と、情報提供という言い方は、サービスの一つの考え方の一つとしては、そういう表現の仕方かなと思っております。

○議長（色川晴夫君） 片山正弘議員。

○12番（片山正弘君） そうしますと、これ8月ということですね。本来であるなら、その時点にもう予算措置を十分に早くから考えたとすれば、これを7月1日スタートというわけにはいかないのですか。その辺の検討はされたのかどうか。これからの広報等についてどのように、もう事前に30名の方に連絡しようとする情報を持っているとすれば、今後の広報活動はどのようにして進めていくのかお聞きします。

○議長（色川晴夫君） 佐々木企画調整課長。

○企画調整課長（佐々木敏正君） 今回の第2期の周知の方法につきましては、7月1日配布の広報まつしまと併せまして全戸に同じような広報を行っていきたいとございます。前回、大体30名の方、受付というか名前は控えさせてもらいましたが、7月の広報にて改めてご案内があるかもしれませんということのご案内はしてますので、7月の広報を見てくださいという周知だけにとどめてございます。ですので、全戸一斉に7月に周知を行いまして、皆様のほうで、やられるリフォームの中身を検討の時間も必要です。業者さんに家を見てもらって見積りをしてもらう時間も必要でございます。そちらの期間を1か月取りまして、8月からの受付ということで検討してるところでございます。以上です。

○議長（色川晴夫君） 片山正弘議員。

○12番（片山正弘君） その辺の広報等については十分注意してやっていただきたいと思います。それで、オーバーしてる30名の方の事前に住所を持ってるということなんですが、その方たちの広報というのは、どのようにその広報紙の中に、事前に30名オーバーした方に対しての広報というのはどのように。広報紙の中で入れるんですか、それとも電話で連絡するとか、どのような方法でその方に広報の連絡を考えているんですか。

○議長（色川晴夫君） 佐々木企画調整課長。

○企画調整課長（佐々木敏正君） そのところの詳細な周知の仕方につきましては、議決をいただいた後にしっかり検討していきたいと考えているところでございます。以上です。

○議長（色川晴夫君） 片山正弘議員。

○12番（片山正弘君） 十分にその辺は混乱のないようにお願いしたいなと思います。この予算

が6月1日締め切ったので多かったからやるというなら話分かるんですよ。締切り前に予算措置を考えてるというところに私は問題があるから、そういうことの周知徹底をしっかりとしなさいと言ってるんですよ。住民のためにやってすばらしいことなのに、そのような混乱を招くようなことは、私はあってはいけないと思います。これだけ以外の予算措置が今後出てきたとした場合も、このようなことが起きる可能性だってあると思うんですよ。ですから、予算措置というのは、その辺は十分に考えてやっていただきたい。その辺を望んでいますのでよろしくお願いします。終わります。

○議長（色川晴夫君） ほかに質疑を。いらっしゃいますか。7番赤間幸夫議員。

○7番（赤間幸夫君） 7番赤間です。私は、主要事業説明の5番と8番を使って質問をさせていただきます。

まず最初に主要事業説明の5番で10款5項2目、いわゆるB&G海洋センターの電気工作物保守点検における屋外キュービクル式高圧受電設備から施設内制御盤への配膳ケーブルの不良判明によつての交換工事関係です。これは、通年、保守点検業務をずっとやってきておられるということ、この施設自体が結構時間の経過とともに長い年月を経ているということ、そういったところを加味すれば、毎年毎年、保守点検は的確にやってきておれば、この時期のタイミングの補正というのは逆になんではないか、当初予算に上げることも可能ではなかったのか。これないと大変ですよ、この施設自体ね。その辺の確認、まず理由から説明をいただきたいなと思います。よろしくお願いします。

○議長（色川晴夫君） 千葉教育次長兼教育課長。

○教育次長兼教育課長（千葉忠弘君） 点検ですが、2か月に1度、定期的に行っている状況です。今回の補正になったという理由なんです、3月末の保守点検でちょっと異常が見受けられるということで報告があったもので、ちょっと当初予算には組み入れることができなかったというような状況です。以上です。

○議長（色川晴夫君） 赤間幸夫議員。

○7番（赤間幸夫君） 3月16日の地震とかそういったものは若干引き金になってこういうことも発生するんだろうなとは思いつつも、できるだけ早い時期に分かった時点でというのが6月のこの時期になってしまつてるといふことなんでしょうけれどもね。

なお、今後の施設管理に当たっては、そういったところの配慮、それから施設の老朽度合いも含めて見るならば、早め早めの点検措置をお願いしたいということをまず申し上げておきたいと思います。

合わさって8番目の主要事業の説明の部分であります。社会教育施設保健体育施設の災害復旧で11款3項2目なんです。震災等災害等における、いわゆる自治体の国有財産に対する保険手当、災害関係の補償保険的な部分についての部分は、これは一財で全額補填しますからですけれども、この件の考え方というか、対応についてはたしかあったようにも、気もするんですけれども、その辺の部分対応についての説明をちょっと聞かせていただけたらと思うんですけれどもないですか。よろしくお願いします。

○議長（色川晴夫君） 佐藤財務課長。

○財務課長（佐藤 進君） 大変申し訳ございませんが、火災とかそういう不慮のときは施設ごとに保険入ってて保険の対象になりますが、地震については対象にはならないということでございます。以上でございます。

○議長（色川晴夫君） 赤間幸夫議員。

○7番（赤間幸夫君） 商品として一般、私どもなんかはみんな地震災害も、自然災害の中で火災だけじゃなくて、そういったものを含めての保険商品というんですかね。そういった運用を展開しているやに聞いてました。自治体のこういった災害保険共済会というんですかね。ああいったところの部分にはそういったことはないんですよね、それでは。その辺、再度確認です。ごめんなさい。

○議長（色川晴夫君） 佐藤財務課長。

○財務課長（佐藤 進君） 同じ答弁になりますけれども、一般的に、自宅ですと火災保険の附帯として地震保険になっているということでございまして、共済についても基本的な施設については火災保険が主ということになってます。地震になると、全国というか宮城県では全部なりますので、その部分はあくまでも火災保険のみということになっているのが現状でございます。以上でございます。

○議長（色川晴夫君） よろしいですか。ほか、質疑ございますか。小澤さん、2回目ですね。じゃあ、はい。（「議長が許せばいいんだ」の声あり）

○11番（小澤陽子君） 議長、お許しいただきありがとうございます。11番小澤です。すいません。

○議長（色川晴夫君） 小澤陽子さん、どうぞ。

○11番（小澤陽子君） 今までの伝統や常識などがございと思いますが、一旦それを置いていただき、1町民として分からないので質問させていただきます。

コロナウイルス感染症対策の全ての項に当たるんですけれども、例えば23番、漁業者に対す

る交付金ですけれども、こちらは漁協に入っている方しか頂けないのでしょうか。教えてください。

○議長（色川晴夫君） 太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） そのとおりでございます。（「松島の……」の声あり）

○議長（色川晴夫君） ちょっと待ってください。（「議長」の声あり）小澤陽子さん、どうぞ。

○11番（小澤陽子君） 町内には漁協に入っていない漁業者はゼロということでしょうか。

○議長（色川晴夫君） 太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） そのとおりでございます。

○議長（色川晴夫君） 小澤陽子議員。

○11番（小澤陽子君） これから新しく若い方などで移住を考えている方で、会社を持っている方で、漁業を始める場合は漁協に入らないといけないということによろしいでしょうか。

○議長（色川晴夫君） 太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） 基本的に漁業権とかという話になってきちゃうので、ちょっと詳しい話は申し上げられませんが、原則加入というようなことになると思います。以上です。

○議長（色川晴夫君） 小澤陽子議員。

○11番（小澤陽子君） 農業であれば、話は変わります。JAに加入しないと頂けない補助金や、例えばなんですけれども商工会議所に入っていないと頂けないとか、大きな話になってしまいうんですけれども、今回、今議論しました、例えば、この住まいのリフォームの件であれば、商工会の方を通してリフォーム会社とかに周知されたのでしょうか。

○議長（色川晴夫君） 佐々木企画調整課長。

○企画調整課長（佐々木敏正君） 商工会に周知といいますか、商工会、職工組合については、今度町で初めてこういった取組を行いますという事業の紹介はさせていただきました。以上でございます。

○議長（色川晴夫君） 小澤陽子議員。

○11番（小澤陽子君） それでは、商工会に入っていないリフォームをする会社には周知をしてないということによろしいでしょうか。

○議長（色川晴夫君） 佐々木企画調整課長。

○企画調整課長（佐々木敏正君） 今回は個人事業主の方を対象としております。その方々については、組合に加盟されていたりとか、人づてに情報を入手されておりますし、また広報ま

つしまでも全戸に配布してますので、個人で事業を営んでる方も制度の仕組みは確認取られているようでございます。以上でございます。

○議長（色川晴夫君） 小澤陽子議員。

○11番（小澤陽子君） あと旅館組合さんに入っていない旅館というのは、町内にはございませうでしょうか。

○議長（色川晴夫君） 太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） ございます。

○議長（色川晴夫君） 小澤陽子議員。

○11番（小澤陽子君） 何件か教えてください。

○議長（色川晴夫君） 太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） ちょっと手元に資料ないので10件以内だと思います。以上です。

○議長（色川晴夫君） 小澤陽子議員。

○11番（小澤陽子君） 観光協会に入っていない観光に携わる業者さんは何件あるかご存じでしょうか。

○議長（色川晴夫君） 小澤陽子議員、質問がちよっとずれてる。関連はあるんですけども、この場で急にそういうことを言われてもなかなか資料がないかもしれませんよ。

それからもう一つ、一般町民という言葉が先ほど出ましたね。その中から皆さんは議員として、皆さんの投票によって選ばれたわけでございます。その辺の自覚を持って、一般町民とかそういうことは、軽々しくこの場ではお控えいただければと思います。（「申し訳ございませんでした」の声あり）いえいえ。太田産業観光課長、分かりますか。

○産業観光課長（太田 雄君） 協会の未加入者についても、ちょっと資料もないので正確な数字はちょっとこの場ではお伝えできません。以上です。

○議長（色川晴夫君） 小澤陽子議員。

○11番（小澤陽子君） お答えいただき大変ありがとうございました。

これからは、いろいろな協会に入っていない業者さん、それから入ることのできない事業主の方、たくさんいらっしゃいます。その方にも、ぜひ補助金が届くような仕組み、それから、考えを持っていただけたらありがたいです。以上、ありがとうございました。

○議長（色川晴夫君） ほかに質疑ございますか。それでは、あと何人ぐらい質疑ございますか。

（「簡単です」の声あり）そうですか。じゃ、高橋議員。

○13番（高橋利典君） 今の地方創生の臨時交付金のナンバー22、農業者の物価高騰対応の支援

事業での質問です。

確認です。この稲作関係で、10アール当たり1,500円というようなことで、件数が256件、面積的には4万7,886アールというようなことで、この対象作付ですね、前回も米価下落した際にも生産面積ということで出荷面積ですか、そういったことでの算定でしたけれども、今回の面積当たりの申込みというか、対象は、結局、ここには作付面積と、それから、生産の出荷している農業者というようなことでありますけれども、その主食米やら備蓄米やら飼料用米やらとあるわけで、大体皆生産費は同じような形でかかりますので、売る先が違ったり値段が違ったりするわけですが、同時に生産品そのものは、全て大体同じようなことでかかるわけですが、その点の算定について、お伺いをいたします。

○議長（色川晴夫君） 答弁。太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） 例えば転作促進の事業とか、あと今回提案しております稲作の作付面積に応じた直接支援のということで、いずれにしても目的は稲作農家さんの経営安定のために、その軽減を図る支援策と考えておりまして、転作作付、例えば稲作の作付両方ともという話とちょっと伺ったんですけれども、その支援策としては、町としては一本という形で今回、稲作の作付に応じ、反別に応じた分を支援するという形を取りました。以上です。

○議長（色川晴夫君） よろしいですか。高橋利典議員。

○13番（高橋利典君） 出荷用ということなので、一応何ていうんですか。早ければ主食米というような形なのか、それとも備蓄米もこれに入っていくのか、そういった面積も加味するのか、その辺をお聞かせ願いたいと思います。

○議長（色川晴夫君） 太田産業観光課長。

○産業観光課長（太田 雄君） 資料の概要ではちょっと明記はしてなかったんですけれども、要綱上で松島町地域農業推進協議会に令和4年産の営農計画を提出し、主食用米（備蓄米及び飼料米を除く）を作付した農家ということで定義づけしてまいりたいと考えております。以上です。（「分かりました」の声あり）

○議長（色川晴夫君） よろしいでしょうか。ここで、質疑ございませんね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（色川晴夫君） ここで休憩に入ります。（「採決までお願いします」の声あり）失礼しました。

質疑なしと認め、質疑を終わります。

討論に入ります。討論参加ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（色川晴夫君） 討論なしと認め、討論を終わります。

これより、議案第31号を採決します。

本案を原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（色川晴夫君） 起立全員です。よって、議案第31号令和4年度松島町一般会計補正予算（第2号）については原案のとおり可決されました。

ここで休憩に入ります。失礼しました。11時20分再開いたします。

午前11時11分 休 憩

午前11時20分 再 開

○議長（色川晴夫君） 再開いたします。

日程第4 議案第32号 令和4年度松島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について

○議長（色川晴夫君） 日程第4、議案第32号令和4年度松島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、直ちに質疑に入ります。質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（色川晴夫君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

討論に入ります。討論参加ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（色川晴夫君） なしと認めます。討論を終わります。

これより、議案第32号を採決します。

本案を原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（色川晴夫君） 起立全員です。よって、議案第32号令和4年度松島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）については原案のとおり可決されました。

日程第5 議案第33号 令和4年度松島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1

号) について

○議長（色川晴夫君） 日程第5、議案第33号令和4年度松島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、直ちに質疑に入ります。質疑ございませんか。今野 章議員。

○10番（今野 章君） 今回の補正、多分10月からの2割負担導入に関わって事務費が必要になってくるとこういうことだと思うので、今まで1割負担の方から2割負担になる方、年収でいうと200万円を超える方々だということになってるようですけれども、対象人数どれぐらい本町でいるのかだけ教えていただければと思います。

○議長（色川晴夫君） 安土町民福祉課長。

○町民福祉課長（安土 哲君） 現在1割負担者が2,850人ということで6月現在いらっしゃいます。その方の中から2割に移行されると見込まれるのが570人と。この推計値につきましては20%なんですけれども、国から見込まれている推計値を用いて今のところ見込んでおります。以上です。（「分かりました」の声あり）

○議長（色川晴夫君） よろしいですか。（「はい」の声あり）そのほか質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（色川晴夫君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

討論に入ります。討論参加ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（色川晴夫君） 討論なしと認め、討論を終わります。

これより、議案第33号を採決します。

本案を原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（色川晴夫君） 賛成者、起立全員であります。よって……（「違うよ」の声あり）失礼しました。（「もう1回」の声あり）

すみません。もう一度、起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（色川晴夫君） 起立多数です。よって、議案第33号令和4年度松島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）については原案のとおり可決されました。

日程第6 議案第34号 令和4年度松島町下水道事業特別会計補正予算（第1号）
について

○議長（色川晴夫君） 日程第6、議案第34号令和4年度松島町下水道事業特別会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

提案説明が終わっておりますので、直ちに質疑に入ります。質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（色川晴夫君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

討論に入ります。討論参加ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（色川晴夫君） 討論なしと認め、討論を終わります。

これより、議案第34号を採決します。

本案を原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（色川晴夫君） 起立全員です。よって、議案第34号令和4年度松島町下水道事業特別会計補正予算（第1号）については原案のとおり可決されました。

日程第7 議案第35号 令和4年度松島町水道事業会計補正予算（第1号）について

○議長（色川晴夫君） 日程第7、議案第35号令和4年度松島町水道事業会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

提案説明が終わっております。直ちに質疑に入ります。質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（色川晴夫君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

討論に入ります。討論参加ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（色川晴夫君） 討論なしと認め、討論を終わります。

これより、議案第35号を採決します。

本案を原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（色川晴夫君） 起立全員です。よって、議案第35号令和4年度松島町水道事業会計補正

予算（第１号）については原案のとおり可決されました。

日程第８ 議員派遣の件について

○議長（色川晴夫君） 日程第８、議員派遣の件についてを議題といたします。

お諮りいたします。議員派遣の件については、会議規則126条の規定によりお手元にお配りしておりますとおり議員を派遣することにしたいと思います。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（色川晴夫君） 異議なしと認めます。よって、議員派遣の件はお手元にお配りしたとおり議員を派遣することに決定いたしました。

日程第９ 予算委員会の閉会中の継続審査・調査について

○議長（色川晴夫君） 日程第９、予算委員会の閉会中の継続審査及び調査についてを議題といたします。

各委員会の委員長から、閉会中の継続審査及び調査の申出がありました。件名一覧はお手元に配付しております。審査及び調査件名を事務局長より朗読させます。局長。

○議会事務局長（櫻井和也君） それでは朗読いたします。

委員会の閉会中の継続審査・調査申出一覧表。令和４年第２回松島町議会定例会。

委員会名、継続審査等の内容、審査等の期限の順に申し上げます。

広報公聴常任委員会。議会広報誌の編集、発行及び配布。議会における情報通信技術の活用。議会報告会及び一般会議の開催に必要な企画及び調整。広報及び公聴の活動により明らかになった政策課題の整理。令和４年９月定例会。

議会運営委員会。次回の議会開会に伴う議会運営についての審査。議長の諮問事項及び議会活性化に伴う調査研究。令和４年９月定例会。

デジタル推進特別委員会。情報通信技術を活用した議会運営の業務効率化と多様な情報発信の調査・研究に関する事項。調査終了まで。

以上です。

○議長（色川晴夫君） お諮りいたします。各委員会の委員長から申出のとおり、閉会中の継続審査及び調査をすることにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（色川晴夫君） 異議なしと認めます。よって、申出のとおり、閉会中の継続審査及び調

査をすることに決定いたしました。

本定例会に付議された議案の審議は全部終了いたしました。

令和４年第２回松島町議会定例会を閉会いたします。

皆さん、大変ご苦勞さまでございました。

午前１１時２９分　閉　会